

末續 慎吾氏

ミズノ株式会社所属。九州学院高等学校卒業。

世界陸上パリ大会200M銅メダリスト

北京オリンピック400Mリレー銅メダリスト

僕は陸上を始めてもう20年近くになります。僕は現在30歳になりますから人生の半分以上の時間を走る事に費やしてきました。小さいころからずっと走ってたかというとはそうではなく、空手やサッカーとかほかのスポーツをやっていた頃もありました。しかしどれも長続きしませんでした。それは今でもそうです。走る事以外はまったく長続きはしません。もちろんたくさんの事に好奇心や興味は湧きますし挑戦しますが、やっぱり陸上を中心に考えています。なぜなのか？とよく聞かれますが僕自身もよくわからないのが正直な気持ちです。ただ持っている今の自分の全力を試せる場所を探し求め、その場面場面で全力を出して向き合う。そんな気持ちに付き従って生きてきた結果、今の自分があります。そしてそれが陸上の走る事だったということです。そして何よりそれが好きです。今若い世代の子達と接する時よく聞かれる事があります。どう努力していいのかとか、どこに向かって一つの事をやったらいいのかという根本的な事です。中には何をしたいのかさえもわからないという子達もいました。たくさんの情報や、あまりに早い時間の流れにせっかくある可能性とか大事なものが見えなくなっているんだろうと感じました。僕はこの陸上を今までしてきた中で一つだけ学んだ事があります。それは最後には好きであるという気持ちしか残らないということです。理由はないけどただ好き。メダルをもらうから、一等賞があるから好きなんじゃないと思います。ただ「走る」事が好きで、そしてそれを全力でやりたいんだと思います。そうすることでたくさんの人と出会い、たくさんの経験をしたから、今人に何かを伝えることのできる今があります。ただ好きな事を真剣にやるというそれだけです。シンプルだからこそ難しいですが、後は夢が勝手に後から詰まってきます。夢は大きくも小さくも叶った瞬間にはもうプロセスになっていくもので、夢が終着点ではなく叶ったらまた次の夢が湧いてきます。それは長い道のようにいつまでも続きます。「走る事」に生きる事が今の僕の夢でそれは点の夢ではなく線の夢です。そう思ってこれからも走りたいと思います。そうして何か伝わる事が僕からのメッセージになると心から願っています。

ミズノ株式会社 末續慎吾